平成２２年１０月１日

会員並びに関係者各位

日経アーキテクチュア（2010 - 7 - 26）に掲載の「頻発する開口部の落下」記事について

（社）日本サッシ協会
技術委員会

標記の件につきまして、掲載記事に次の３つの項目が提言されています。

（１） 定期的維持管理の実施
（２） はずれ止め金具の安全基準の策定
（３） 複層ガラスへの改修の安全対応

（社）日本サッシ協会 技術委員会ではこれらの提言について、会員及び関係者の方に向けてその見解と今後の活動について下記のようにまとめました。会員ならびに関係者の皆さまにはご理解いただくと共に、今後ともご高配いただきますようお願い申し上げます。

（１）定期的維持管理の実施

サッシ協会では、平成１４年に「ビル用引き違い窓・片引き窓の障子落下に関する対策ガイドライン及び保守管理上のお願い」を策定し、運用してまいりましたが今回の記事提言を受けて、このガイドラインについて会員へ向け再徹底をお願いしてまいります。
さらにメンテナンス、施工業者の方、建物の管理者の方に向けては、サッシの安全な使用方法及び、保守管理のメンテナンス実施をお願いしてまいります。

（２）はずれ止め金具の安全基準の策定

障子のはずれ止め金具については、サッシ構造・はずれ止め機構の違い・技術の進歩・使用環境・操作状況・用途の多様性から、統一した基準や規格作りは困難と判断しております。
各メーカーにおいては製造技術・材料の選択・機構などメーカー毎に最適な部品選択を行い、取扱説明書や仕様書にて明示しております。したがいまして、以下について再度ご理解いただきご使用いただきますようお願いしてまいります。

障子の落下を防止するための基本は、引渡し時の正しい施工と調整、日常の正しい操作、そして定期的な専門業者による維持管理が重要です。

（３）複層ガラスへの改修の安全対応

既設窓の障子を複層ガラスに交換改修する場合は、障子重量が増加となりますので、障子の戸車耐重量を超える場合があります。そのことにより、戸車の破損が障子落下や作動不具合の原因となる可能性があります。
ガラスの交換改修時は、専門施工業者に依頼し重量増加による戸車の耐重量や部品の健全性に留意し施工することをお願いしてまいります。

以上